

福井県民の将来ビジョン 分野別意見交換会 意見概要

(水産業)

- 福井県の「ふくい魚・元気な販売戦略」が実現されれば、福井は「魚食都市宣言」を行えるが、現場ではそうはいかない。
- 10年後の福井の水産業を考えるならば、今の子どもたちにしっかりと魚食の指導をしていかなければならない。
- 学校の給食では骨なしの魚ばかりが提供され、また、食育の一環として、学校で子どもたちに教えても、家での母親の食育の場がないため、母親に対する食育も重要である。給食の魚の提供に対する補助を考えてほしい。
- クックパッドというホームページでは一般消費者によるレシピ集が掲載されているが、魚のレシピは少ない。魚の単価について漁業者は「安い」、消費者は「高い」というギャップがあるようだ。
- 10年後を考えると、子どもたちに水に親しんでもらうことが大切であり、川遊び、魚の種類、魚の取り方などを実体験してもらうのはどうか。
- 「内水面が認定するガキ大将」などのアイデアも組合内から出ており、川での遊びを通して、人間関係等も育ててほしい。
- 学校では、川は危険だから、子どもに遊んではいけないと指導してきた。最近では、国土交通省も文部科学省も環境の面から水に親しむ施策を打ち出し始めている。
- 福井県でも①子どもに安全な河川なのか、②魚釣りをするほど魚がいるのかななどの条件をクリアできるように検証していかなければならないと考える。
- 東アジアマーケットを対象とした商売を展開していかなければならない。また、外国からの観光に目を向けて資源を活用していかなければならない。
- 福井県の漁業の状況として、10年前に比べて漁獲量はそれほど変わっていないが、漁獲金額は15%下がっている。一つの理由として、外国から入ってくる魚が多いためである。
- 福井県の漁協の組合員は5000人とされているが、実際に漁業に就業しているのは2000人程度である。人が少なくなると、組織を維持するのも難しい。福井県の計画を消化するだけの力が今の組合にはない。
- 福井県の漁業は力が強いものだけが生き残れる体制で漁業を行っている。漁業期間の制限や資源の確保等のぎりぎりのルール設定をしているが、それでも漁業者の所得格差は大きい。新規就業者についても生活安定（補てん）がされれば魅力的な産業になるのではないか。
- 横浜の中華街のように、売上げをプール制にして産地としての優位性を保つことは考えられないか。

- 学校で提供される魚は外国産でおいしくない。地場の魚を使ってほしいのだが、栄養士が「高い」、「骨がある」などの理由で使わない。高齢者は食べても量が限られているので、小中学校の給食で魚を使ってほしい。
- 現在の県の計画にのっていけない人をどうするのか。今後10年で漁業をやめていく人が多くなっていくと思われるが、それをどうするのか考えてほしい。
- 漁業については、新規就業は難しいので漁業者を減らさない施策が必要である。
- 体験漁業について、他県の小中学生に対して行っているが、県内の小中学生には実施していないのではないか。
- 最近、県の環境政策課の事業で体験漁業が実施されているが、交通費は学校（小中学生）が負担するようで、タイミングが合わないと利用は難しいと学校からも言われている。
- 学校にボランティアで教えにいきたくても、先生との交流がないため、つてがなく話の進め方が分からない。
- 10年後のことも大切だが、今をどう乗り越えるかに頭を悩ませている。経営が成り立たない大きな理由として燃油の高騰がある。燃油が売上げの10%を越えると経営が成り立たない。燃油を下げる施策を打ち出してほしい。
- カニは対面販売である。市場に出回らない。また最高値（3万円）の価格が当たり前になってしまうので、安くなると利益が上がらない。
- 他の魚については、量販店が魚の値段を決めてしまっている。その価格では経営は成り立たない。エチゼンガニ以外にも福井の魚をブランド化して、新しい顧客を拡大する政策を打ってほしい。
- 燃油高騰が原因であるならば、福井県がエネルギー産出県であることを活かして船のエンジンを電気に変えてはどうか。
- 加工業は魚を冷凍して保管して裁くことができる。ただし、福井県内のどこの漁協で何が獲れているのか、何が余っているのかの情報が集約されていない。各組合内で情報が留まっているようだ。
- 加工産業もスケソウダラとイカを主に行っているが、スケソウダラは倍の値段になっている。相場に合う材料を県内で調達するシステムはできないか。
- 小浜水産高校の統合の問題もあがっているようだが、後継者を育てる方針を出してもっと活用してほしい。また、実習船の「雲龍丸」に県内の小中学生が乗るのもいいのではないか。
- 県内にも魚のあら処理施設が必要である。現在は広島まで持っていっている。（その前は富山）